

次号予告「光学とバーチャルリアリティのこれから」

// 編集後記 //

巻頭言

光学とバーチャルリアリティの交織……岩井大輔

企画意図

「光学」と「バーチャルリアリティ学会誌」の異分野  
融合……山本裕紹

対談

これからの光学とバーチャルリアリティ

解説

バーチャルリアリティによる知覚・行動の編集と

Well-being ……鳴海拓志  
日常生活支援を可能にするスマートグラス……清川 清  
動的・適応型空間ユーザーインターフェース  
……高嶋和毅

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

- 53 巻 10 号「次世代の人工現実感を映し出す技術」
- 53 巻 11 号「バーチャルリアリティが切り開く視覚科学」
- 53 巻 12 号「ハイパースペクトルイメージングの技術動向」
- 54 巻 1 号「中赤外フォトニクスデバイスと応用の広がり」
- 54 巻 2 号「健康長寿社会の実現へ向けた光医療」

探針増強分光法は貴金属のナノプローブ先端で局所的な増強電場を発生させ、光の励起と散乱を増強して測定するユニークな手法であり、光の回折限界を超え、原子・分子スケールで物質表面の光学特性の分析を可能にしました。近年、単一分子の微視的な反応機構の解明や、2D 材料、半導体、生体材料などの化学・物理特性の評価が実現されています。

本特集では探針増強分光法に焦点を当て、分子・原子スケールの超微小領域の組成や構造を調べるための新手法や新展開から、探針作製、装置開発の最新展開まで、最前線で活躍する先生方に解説いただきました。これにより、探針増強分光法の理解を深めるとともに、光の極限を突破した分子・原子レベルの光学イメージングが重要な技術であることが明確になりました。この特集が、読者の皆様にとって探針増強分光法を用いた原子・分子スケールで物質表面の光学特性の分析の現状と将来への理解を深めるための重要な資料となり、探針増強分光法の進化が未来を切り開く鍵となり、さらにその推進力となることを期待しています。

最後になりましたが、ご多忙にもかかわらずご寄稿いただきましたご執筆者の皆様、数多くのご助言・ご協力をいただきました編集委員の皆様、丁寧な作業で最後までブラッシュアップをしていただきました編集局に深く感謝申し上げます。  
(張, 庄司)

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2024 ©

第 53 巻 第 8 号 <月刊>

2024 年 8 月 10 日 発行

定価 1,500 円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11

常光ビル 7F 有限会社学術新報社内

E-mail: [info@myOSJ.or.jp](mailto:info@myOSJ.or.jp)

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

芦原 聡*	的場 修**	内田 美幸	江川麻里子
大平 倫裕	岡野 誉之	奥平 陽介	桶谷 亮介
角田 英俊	金 蓮花	黒坂 剛孝	小林 弘和
酒井 大輔	庄司 暁	瀬谷 安弘	田代 知範
豎 直也	玉田 洋介	張 開鋒	角井 泰之
中川 桂一	中山 雄太	日達 研一	藤井 瞬
藤井 宏昌	藤村佳代子	細木 藍	堀切 智之
堀崎 遼一†	水谷 康弘†	三宅 大助	本山 央人
安田 英紀	矢次 健一	和田 篤	

\*委員長 \*\*副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: [kogaku@academic-j.co.jp](mailto:kogaku@academic-j.co.jp)